

パブリックコメント手続 実施結果 「茅ヶ崎市実施計画 2030(素案)」

1 募集期間 令和8年1月28日(水)～ 令和8年2月27日(金)

2 意見の件数・意見提出者数 21件・8人

3 意見提出者年齢

年代	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
人数	0人	1人	1人	0人	2人	1人	3人	0人

4 内容別の意見件数

	項目	件数
1	実施事業に関する意見	16件
2	計画への位置づけ、進行管理に関する意見	2件
3	パブリックコメント手続に関する意見、要望	1件
4	その他意見(匿名の意見等、提出要件を満たしていないもの)	2件
	合 計	21件

5 意見への対応区分 ※「パブリックコメント手続に関する意見、要望」、「その他意見」として整理したものを除く。

対応区分	説明	件数
反映	意見を受けて計画(素案)等に一部修正を加えたもの	2件
参考	今後、取組を推進する上で参考とするもの	16件
	合 計	18件

6 条例、計画等の公表日(予定) 令和8年3月31日(火)

茅ヶ崎市 企画政策部総合政策課 総合政策担当
0467-81-7121 (直通)
e-mail:sougouseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

(意見及び市の考え方)

※各意見については、原文のまま表記しています。

■実施事業に関する意見(16件)

(意見1) (対応区分:参考)

P30 地域介護予防活動における重層的支援体制の整備

認知症予防の講座と認知症予防の体操の教室が香川公民館 R7.1 月 17 日にあり、18 才以上からだったので、親子で参加することができた。自身も難病をわずらっており、転倒予防や体操などの講座は 60 歳～とか 65 歳～とかのものが多く、参加できないものが多かったのもっと増やして欲しい。又、父が要介護2だがなかなかサービスにつながらず、私の見守りということだと参加してくれている。外出の機会も減ったので、ボランティアセンターやコミュニティー食堂を利用させてもらっている。地域の人から声をかけられると嬉しそうにしている姿をみるととても嬉しい。香川公民館、ボランティアセンター、香川自治会館での取り組みは自身も父も地域とのつながりがもてて、生きる活力になる。自宅にこもることは不安や恐怖心が強くなってしまっているので、できるだけ社会とつながることを大切にしたいと思っている。身近なところに参加できる場所がいくつもあつては出かける機会をつくり、自分が必要とされていると実感できて本当にありがたい。ひとりじゃないと思えることが何より大切。

(市の考え方)

地域介護予防活動における重層的支援体制の整備では、地域の中で住民が主体的に健康づくり、介護予防に取り組めるよう元気な高齢者等と連携して支援をしております。引き続き、地域の実情に応じて、介護予防ボランティアや様々な関係機関と連携を図り、住民主体の集いの場を拡充できるよう支援をまいります。

その他にも公民館事業として、ご意見いただきました認知症予防など、地域の皆さまの関心が高い課題を主催事業の中に取り入れ、実施しております。公民館は子どもから高齢者まで、様々な世代の方々が集い、学び、つながる場となっております。今後も地域の皆さまのニーズを的確にとらえ、市の関係課、地域の関係機関などと連携しながら事業を展開してまいります。

公民館やボランティアセンター等の地域を拠点とした地域の様々な取り組みは、身近なところで参加でき、生きがいとともに創り、高めあうことにつながります。また、社会や地域とのつながりは、孤独・孤立を防ぎ、早期の気づきや支援につながるとともに、日常の支え合いや見守り、防災・防犯など、暮らしの様々な場面で重要な役割を果たします。引き続き、年齢、経済状況、障がいの有無にかかわらず、地域の一員として誰もが役割と生きがいを持てる地域共生社会の実現を目指してまいります。

(意見2) (対応区分:参考)

P39 指定ごみの製作・流通

指定ごみ袋になってからの燃えるゴミ、燃えないゴミの量が少なくなったと感じる。プラごみも指定ゴミ袋を製作しても良いのではないかと思う。さらに減量ができると思う。ただ、分別がきちんとされないこともあるので、色は透明のものが良いと思う。

(市の考え方)

令和4年度にごみ有料化を導入し、ごみの排出量は令和3年度と比較して令和6年度実績で約16%(9,108t)削減できました。資源物であるプラスチック製容器包装類は約20%(557t)増え、循環型社会形成に向けて、ごみの減量化と資源化が順調に推移していると言えます。プラスチック製容器包装類の排出につきましては、市民の皆様には、これまでと同様に透明・半透明の袋を使用し、適正排出にご協力いただくとともに、環境学習会の実施や様々な広報媒体を活用して、適正な排出方法を啓発してまいります。

(意見3) (対応区分:参考)

P47 交通安全教育・啓発

茅ヶ崎は自転車を利用される方が多く、マナーが悪い方が目立ちます。令和8年4月1日から自転車の違反に青切符が導入され、自動車の運転なみに反則金がとられます。各自治会を中心に安全教室を行って欲しい。

(市の考え方)

交通安全教育・啓発に関しましては、小・中学生や保護者、高齢者など、ライフステージに合わせた交通安全教室等の実施や、「広報ちがさき」をはじめSNSツールによる情報発信、市内の市営自転車駐車場等へのポスター掲示など、様々な広報媒体を通じて周知啓発に取り組んでおります。

令和8年4月1日からは道路交通法が改正されるため交通ルールについて改めて市民の皆様一人一人が自分事としてしっかりと意識を持っていただき守っていただくことが大変重要であることから、関係機関、関係団体、民間事業者等との連携を図るとともに、基本的な自転車のルールやマナーに加え、新たな反則金に関して、各自治会をはじめとする各団体への周知徹底及び交通事故の抑止に取り組んでまいります。

(意見4) (対応区分:参考)

P51 茅ヶ崎駅のホームドア設置

ホームの幅がせまく、身体に左右差があり、怖い思いをする事がある。ホームドアの整備はぜひお願いします。

(市の考え方)

茅ヶ崎駅の5、6番線ホームは、ピーク時の利用者数に対してホーム幅が狭く、危険性が高い状況であると認識しております。本市としましては、以前よりJR東日本に対してホーム上の安全対策実施を働きかけてまいりました。その結果、ベンチや自動販売機の設置場所見直し、内方線付き点状ブロック整備など、安全性向上の取組が行われてきたところです。

今後につきましても、JR東日本との協議を重ねながら必要な支援を行い、本実施計画期間内におけるホームドア整備の実現を促進してまいります。

(意見5) (対応区分:参考)

P51 北茅ヶ崎駅のバリアフリー化

元イトーヨーカドー(現ブリックス)前のエレベーターが故障している事が多い。

(市の考え方)

エレベーター等の昇降機につきましては、重大な事故を未然に防ぐよう適切な維持管理に取り組んでいく必要があることから、確実な保守点検を行うとともに、消耗や劣化がみられる部品の交換や修繕を実施しております。

今後につきましても、引き続き安全に利用できるよう、適切な維持管理に努めてまいります。

(意見6) (対応区分:参考)

P51 公共交通利用について

鶴が台団地は高齢者が多いが、バスの本数が時間帯によっては1時間に1本となってしまうので、不便。せめて、1時間に2本くらいになるとありがたい。

(意見7) (対応区分:参考)

重点戦略の基本方針《人口減少期でも元気で持続可能なまち》

該当ページ及び意見の対象部分:51 ページ 施策目標 22「移動しやすく、交通の円滑化が図られている」 施策指標 22〈市民1人当たりの年間公共交通利用回数 目標値 449.3 回〉

始めに、(1)当面の課題

これからの縮小社会を迎え、交通弱者(高齢者・子供・自動車を買えない・運転できない市民)が移動しやすい環境づくり、高齢者の外出不足による心身の不健康の問題、買い物難民問題等、モビリティ(移動性能)とアクセサビリティ(到達性能)の検討・研究が必要と考えます。

マイカーではなく公共交通、徒歩、自転車で茅ヶ崎市民のお出かけ促進と地域交流を活性化することが重要です

外出意図を増進させ公共交通全体の需要を増やし、新しい移動需要の獲得により路線バスの利用者増加も図れる。

(2)コミュニティバス

その中で現在運航中のコミュニティ・えぼし号は茅ヶ崎のシンボルの役目を果たしている。

どの都市でもかわいらしい小型コミュニティバスが走っているのはその街の活気にも繋がっている。えぼし号のカラーも湘南の雰囲気にもマッチしている。運航コストの収支以上の価値がある。

コミュニティバスの運行形態改善による街の活性化への取り組むべき検討テーマ

副題《市民の誰もが生活圏内で移動しやすくお出かけしたくなる仕組み作り》

- ①市民の外出意図の増進により街の活性化に繋げる。
- ②市民のお出かけ増加により地域交流の活性化を図る。
- ③市民の移動需要の獲得によるバス利用者の増加、民間バス事業者の収支改善。
- ④外出、異動をためらう高齢者を対象にお出かけしたくなる仕組み作り。
- ⑤さらに高齢者の外出機会増進による心身の健康度向上による医療コストの低減へ。
- ⑥大型路線バスとコミュニティバスの運行形態の仕分けによる市民の移動効率化。
- ⑦バス運転手の意識改革・運転手からサービスプロバイダーへ。
- ⑧バス祭りの開催によりコミュニティバスの注目度、知名度向上を図る。
- ⑨コミュニティバスの乗り心地等、運行快適性の技術向上による乗車率向上。
- ⑩バスストップの雨天対策、夏季高温対策、身障者乗降対策による乗車率向上。
- ⑪ドライバー不足対応自動運転化、オンデマンド交通システム研究、実証実験の促進。
- ⑫茅ヶ崎市地域公共交通活性化協議会の創設

各テーマ毎の具体的策提案については別途の機会にとします。 以上

(意見8) (対応区分:参考)

施策22交通について

南と北をつなげる、海や山へのアクセス、循環できるようなルートや手段などもつくってほしい。町全体の活性化、未病などにつながってくるのではないのでしょうか。

(市の考え方)

高齢化の進行や深刻な運転士不足など、公共交通を取り巻く社会情勢は年々厳しさが増すなか、地域公共交通を維持・確保していくことは重要な課題であると認識しております。

本市としましては、まちの活性化を見据えつつ、市民の移動ニーズを的確に捉えながら、コミュニティバスの運行見直しや自動運転実証実験の結果検証などを進めるとともに、交通事業者をはじめとする関係機関

との連携を図りながら、市民の日常生活や社会活動を支える公共交通ネットワークが持続可能なものとなるよう努めてまいります。

(意見9) (対応区分:参考)

茅ヶ崎には激安スーパーが業務スーパーとエービィしかなく、アクセスしにくいいため、辻堂のオーケーやアール元気 Luz 湘南辻堂店、サミットなどで買い物をしています。

閉店した相鉄ローゼン高田店の跡地にオーケー、ロピアなどの使いやすい大型スーパーが進出すれば、市民の利便性が大幅に向上し、地域活性化にもつながります。

実施計画 2030 で商業施設誘致を積極的に検討いただきたいです。

(市の考え方)

スーパーマーケット等の商業施設は、基本的に民間事業者が自らの経営判断に基づき、営利事業として出店・運営を行うものであるため、行政が特定の地域や場所を指定して直接的に誘致を行うことは難しいのが現状です。

一方で、市内に新たな商業施設が出店されることは、市民の皆様の利便性向上や地域の活性化に大きく寄与するものであると認識しております。本市といたしましては、市内への新規出店を希望される事業者からお問合せをいただいた際には、立地に関する情報提供に加え、補助制度など出店に資する各種支援制度について丁寧にご案内するなど、円滑な事業展開に向けた環境づくりに努め、地域経済の活性化を図ってまいります。

(意見10) (対応区分:反映)

令和4年度(令和5年2月)市民集会にて、湘北地区地域集会施設要望に対して「市の業務は、計画に基づいて実施しております。事業の実施に際しては、まずは、総合計画に基づく実施計画に位置付けていく必要がございます」との回答をいただいておりますが、実施計画 2030(素案)市民自治推進課「地域集会施設のあり方等の検討」の中に湘北地区地域集会施設に対する位置付けが不明確であります。地域集会施設建設に向けた位置付けの明確化を要望致します。

(市の考え方)

地域集会施設未整備地区については、地域活動の拠点、地域住民の交流の場として、住民の皆様にご利用いただけるよう、建設候補地等整備に向け検討しております。また、当該施設の管理運営は地域住民の皆様にご担っていただき、社会情勢や市民ニーズの変化に柔軟に対応していけるよう、その管理運営手法についても検討する必要があります。

実施計画2030においては、地域集会施設の今後の整備や管理運営手法について検討を進める旨記載しましたが、ご意見にある通り不明確な点がございましたので、分かりやすい表現へ改めます。

◆修正部分の対照表

【69 ページ】

修正後	修正前
「地域集会施設のあり方等の検討」の事業概要 社会情勢や市民ニーズ、地域の実情等の変化を踏まえ、地域住民の自主的活動の推進を図るために設置される地域集会施設の管理・運営の今後のあり方、および未整備である湘北地区での整備について検討を進めます。	「地域集会施設のあり方等の検討」の事業概要 社会情勢や市民ニーズ、地域の実情等の変化を踏まえ、地域住民の自主的活動の推進を図るために設置される地域集会施設の_____今後のあり方_____等について検討を進めます。

(意見11) (対応区分:参考)

公共下水道施設の長寿命化

50年が経過し対策も立てていますが埼玉では大事故が起きています。県内でも下水道が分流式で市単独で実施している市もあると聞く。

小川もすでに開渠で海に何本かの川が接しているところもあるとか(P41)

他県市の参考にできることがあるのであればそれを取り入れ、自然豊で人にやさしく歴史を残す計画を望む。

(市の考え方)

本市においては昭和38年度から公共下水道事業に着手しており、早期に着手した区域においては合流式下水道を採用しております。その後においては分流式下水道の整備に着手し、汚水管とは別に雨水管を整備し、水路や河川、もしくは海へ接続することにより、汚水管への負荷をかけずに雨水排水を行っています。

老朽化した下水道管路につきましては、点検調査・改築更新工事を実施することにより、健全な水環境の確保に向け、豊かな水環境と安全・安心なまちづくりに貢献できるよう、公共下水道施設の維持管理に努めてまいります。

(意見 12) (対応区分:参考)

市の過去の歴史を大切に未来を

戦後すぐでも茅ヶ崎市は砂浜も多く、田畑も多く、各神社では芝居や稲荷講、お十夜、閻魔様の会などをしてきた。浜降祭や大岡祭も長い歴史があるが実施方法も変わってきているように思うので。

(市の考え方)

様々な歴史や文化などの地域資源が受け継がれることにより本市の強みがつくられており、これらを次の世代へ継承していくことは、人口減少期でも元気で持続可能なまちをつくっていくために重要であると認識しています。

実施計画 2030 では、重点戦略の視点の一つとして「まちの力を活かして魅力をアップする」を位置付け、このまちが持つ資源や特性といった強みをさらに伸ばし、活用することで活力と魅力の向上を図りまちの元気を創ってまいります。

(意見13) (対応区分:反映)

p.073

「茅ヶ崎海岸グランドプランの推進」(拠点整備課)につきまして

茅ヶ崎海岸グランドプランの推進につきまして拠点整備課さんはじめ、関係のみなさまのご尽力に感謝します。

実施計画案の「新たなにぎわいに満ちた海浜空間の創出を目指します」も大事ですが、平成 19 年 3 月に公布されたグランドプランの表紙にうたわれている「海岸の自然環境を取り戻し、景観に配慮し、環境に負荷をかけない海岸づくりを目指して」という理念が損なわれることのないよう、実施計画を修正いただけますと寛厚です。

市政に意識の高い一部の市民や地域や団体だけではなく、海を愛する広く多くの市民がみまもる中で、グランドプランが進んでいくことを希望します。

(市の考え方)

茅ヶ崎海岸グランドプランに掲げる自然環境や景観の維持・保全の基本理念を踏まえ、これまでもサザンビーチや漁港周辺での取り組みを進めてまいりました。実施計画 2030 に位置付けた茅ヶ崎海岸グランドプ

ランの推進事業につきましても、こうした理念を十分に意識して進めることとしておりますが、事業概要の記載にはその点が十分に反映されておりました。いただいたご意見を踏まえ、次のとおり事業概要の記載を見直すことといたしました。

また、事業の推進にあたっては、多くの市民の皆さまの声に耳を傾けながら、事業を進めてまいります。

◆修正部分の対照表

【28、73 ページ】

修正後	修正前
<p>「茅ヶ崎海岸グランドプランの推進」の事業概要</p> <p>サザンビーチ・漁港周辺地区の魅力の向上のため、地域や関係団体と連携し、<u>自然環境や景観形成に配慮しつつ、新たなにぎわいに満ちた海浜空間の創出を目指します。</u>区内インフラのあり方を検討するとともに、民間の活力を視野に入れて公園整備などを推進し、魅力ある地域を形成することで活性化につなげます。</p>	<p>「茅ヶ崎海岸グランドプランの推進」のの事業概要</p> <p>サザンビーチ・漁港周辺地区の魅力の向上のため、地域や関係団体と連携し、<u>_____</u> <u>_____</u>新たなにぎわいに満ちた海浜空間の創出を目指します。区内インフラのあり方を検討するとともに、民間の活力を視野に入れて公園整備などを推進し、魅力ある地域を形成することで活性化につなげます。</p>

(意見14) (対応区分:参考)

p.084

「みどりの基本計画 生物多様性ちがさき 戦略の改訂」(景観みどり課)につきまして、戦略の対象を、茅ヶ崎海岸のハマゴウやハマヒルガオなどの海浜植生にも拡大していただけますと、海の近くに住民としてうれしいです。茅ヶ崎海岸由来のハマゴウはほとんど失われていて、いまは由来不明のハマゴウが人為的に植えられているそうです。

生物多様性国家戦略 2023-2030 において設定する状態目標・行動目標に関する指標

https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/initiatives6/files/3_2023-2030indicators2.pdf

基本戦略1 生態系の健全性の回復

状態目標 1-3 遺伝的多様性が維持されている

ということから、同じハマゴウでも、茅ヶ崎海岸由来の遺伝子も維持されることが状態目標とされています。ハマゴウは浜降祭において寒川さんのお神輿の下に敷いて聖地化する植物で、茅ヶ崎の文化的な植物でもあります。

(市の考え方)

ご指摘のとおり、海岸のハマゴウやハマヒルガオなどの海浜植生は、生態系の基盤を形成する重要な構成要素の一つであり、地域固有の遺伝的多様性の観点からも重要であると認識しております。

ご意見にありました、茅ヶ崎海岸由来のハマゴウの遺伝的多様性の維持につきましては、「生物多様性国家戦略 2023-2030」においても、基本戦略1「生態系の健全性の回復」の中で、遺伝的多様性の維持が状態目標として掲げられているところです。「みどりの基本計画 生物多様性ちがさき戦略」の改定においても、こうした国の方針との整合を図りながら、海浜植生の保全のあり方について検討してまいります。

また、ハマゴウが地域の祭礼に用いられるなど、本市における特有の文化的側面を有する植物である点に

についても重要な視点であると受け止めております。

(意見15) (対応区分:参考)

施策7まちのにぎわい

茅ヶ崎海岸グランドプランの推進を応援しております。

C地区公園計画とあわせて海岸全体がどう使われていくかどんな景観になるのか茅ヶ崎らしいトータルの計画、計画漁業の方とのつながりなど、茅ヶ崎にとって良い海岸になることを願っております。

また、歩行者と車を分離し、交通機関の充実など安全な場となることを望んでおります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(市の考え方)

本市にとって海岸は、漁業と観光が共存する貴重な場所です。今後、C地区の公園整備等を予定していますが、エリアごとの特色を活かしつつ、グランドプランの地区全体としては、統一感のある景観形成を目指して取り組みを進めてまいります。

また、インフラ整備については、バリアフリーに配慮し、歩行者等の安全性や利便性の高い施設を整備してまいります。

(意見16) (対応区分:参考)

施策15 気候変動について

省エネルギー診断を行うとのことですが、通常の使用に加え、災害時避難を考慮し断熱改修も検討いただきたい。

また、事業者だけでなく民間の住宅へもソーラー活用補助金などもご検討ください。

(市の考え方)

断熱改修は、平常時には空調等のエネルギー消費量削減により温室効果ガス排出削減に寄与します。また、災害時は停電の際も室温を一定に保つことにより、避難施設においては熱中症等から避難者の健康を守るなど、レジリエンス対策の強化につながると認識しています。気候変動適応策として極めて重要な観点であり、今後、公共施設の新築及び改修工事において、断熱性能の向上について検討を進めてまいります。

また、住宅への太陽光発電設備設置の支援策は、平成21年度から28年度まで実施した経過がありました。国や県の補助事業が充実してきたことに加え、設備単価が当時と比較して安価となり購入しやすくなったことから、現在では一定の役割を終えたものと考えております。当面は国や県の動向を注視しながら、国県による補助事業について周知啓発を行ってまいります。

■計画への位置づけ、進行管理に関する意見(2件)

(意見17) (対応区分:参考)

04 施策目標について

将来を見据え、「人口減少期でも元気で持続可能なまち」の部分では、今後、人的資源不足は前提になるのではないかと思います。そのため、業務の効率化に伴い、職員への支援および事業の継続率を明示すると、さらに事業の達成度がわかりやすいのではないかと思います。

その為、成果の把握について、市民満足度に加えて、支援がどの程度継続されているかといった視点も示されると、事業の達成状況がより分かりやすくなると感じました。既存の相談記録等を活用しながら、継続的な支援の状況が見える形にすると、より事業について具体的に可視化することが出来るのではないかと思います。

(市の考え方)

本市でも人口減少がゆっくりと進んでおり、地域全体として働き手が少なくなっていくことが見込まれています。こうした状況は、くらしを支える幅広い分野で人手の確保が難しくなると想定されます。

このような中で、地域の状況や課題を踏まえながら必要な対応をしていくためには、人手の確保を含めて施策や事業の進捗を把握していくことが大切であり、実施計画 2030 ではこうした視点を踏まえながら進行管理を行ってまいります。

(意見18) (対応区分:参考)

施策 13 みどりと街並みについて

茅ヶ崎は自然が豊かな場所ではありますが、住宅地の公園・街路樹が少なく、山側の自然も生かし切れていないと感じます。重点戦略にはっていないようなので、ぜひ戦略に緑を増やす、親しむをご検討ください。

また、海の自然景観は茅ヶ崎にとって大事なものですので、海、町、山とトータルで計画いただければと考えます。

耕作放棄地の活用は応援期待しております。

(市の考え方)

実施計画 2030 では、25 の施策目標を位置づけ、それぞれの施策目標を達成するための取り組みを位置付けるとともに、社会課題を踏まえ、特に分野横断的かつ重点的に取り組む事項について、重点戦略として位置付けています。みどりや景観、農地に関する取り組みは、重点戦略には位置付けておりませんが、私たちの身近な環境を支え、暮らしに安らぎや豊かさをもたらす欠かせない要素であることから、分野ごとの施策の中で着実に取り組みを進めてまいります。

■パブリックコメント手続に関する意見、要望(1件)

(意見19) (対応区分:参考)

パブリックコメント意見(等)募集について

当「パブコメ」の意見募集をもっとPR(啓発)していただきたいと思うし、説明会も実施してほしいです。だいたい応募者が少ない

- ① ほとんどの(多くの)パブコメ(パブリックコメントの意見募集で、これまでいつも(ほとんどの件が)応募者が非常に少なかったと思う。パブリックコメントの意味(公意募集)(市民の意見募集)の意味からしてももっとPR(啓発・多くの情報発信)等したり色々な工夫をしてほしい。
- ② 上記と関連ありますが、市広報ちがさき情報欄に当パブコメの募集が記載されておりますが、多くの市民は見逃し見落とし等をしてしまわないでしょうか。
- ③ パブコメの意味からしても市民に説明会開催するのが原則と思う。
- ④ 説明会(パブコメの)開催した(茅ヶ崎ゴルフ場等)パブコメは、パブコメ等の説明会参加者も多く、パブコメ応募者も非常に多かったと思う。
- ⑤ ⑤R4年度2月のパブコメは・十数件あったと思うが、R5年度のパブコメは2月5件(1から2月かけ3件)前年度の1/3に件数が減りました。更なる工夫をお願いします。
(評価すると同時に時期的にやむを得ないと思うところもありますが色々な配慮がないと市民は適切に応募できないと思う。

(市の考え方)

パブリックコメント手続きは、計画の策定や条例の制定をはじめとした、市の基本的な政策等の決定過程において、市民の皆様からご意見をいただくことができる重要な市民参加の機会であると認識しています。

実施にあたっては市政情報コーナーのほか、市広報紙やホームページ、メール配信サービス、X、LINE、デジタルサイネージの活用に加え、広報掲示板及び公共施設への掲示、まちぢから協議会を通しての周知等、様々な周知啓発を行っており、広報紙の作成にあたっては、多くの市政情報をより分かりやすくお伝えできるよう努めておりますが、紙面に限りがあるため、その号に掲載する記事の内容に応じて、掲載する欄や量を総合的に調整し、より多くの市民の皆様へ情報を認知していただけるよう工夫しております。

パブリックコメント手続きははじめとした市民参加の方法の実施にあたっては、案件に応じて様々な方法を組み合わせて実施することとしており、今後も市民参加機会の充実を図るとともに、積極的な情報提供に取り組んでまいります。

■その他意見(2件)